

平成 23 年度 総合計画審議会 議事録

とき：平成 23 年 11 月 29 日（火）午後 1 時 30 分

ところ：南魚沼市役所 大会議室

参加者

審議会委員

小澤 實会長 荒川 孝市副会長（以降 50 音順）

阿部 康雄委員 阿部 康弘委員 井口 寛委員 小野塚 昭治委員 関 紀美委員

高野 孝子委員 南雲 辰雄委員 福永 千恵子委員 森山 幸子委員

（欠席：南雲 眞一委員）

市

井口市長 小原副市長 遠山教育長 阿部水道事業管理者

岡村総務部長 清塚市民生活部長 貝瀬福祉保健部長 山口建設部長

南雲産業振興部長 南雲教育部長 西野消防長

事務局：近藤企画政策課長 清水企画主幹 羽吹行革主幹 樋口 小林

傍聴人 3 名

進行 小澤会長

【1】開 会 小澤会長

本日より審議いただく実施計画は、今後 3 年間の市政の指針となるものなので、十分にご審議いただき、適格な答申をしたいと考えているので皆様のご協力をお願いしたい。なお、南雲眞一委員から欠席の報告を、荒川副会長から途中退席の申し出を受けているのであらかじめ報告する。

【2】市長挨拶

東日本大震災の被災自治体で合併特例債の適用期間が 10 年間延長されることに伴い、それ以外の自治体においても適用期間を 5 年間延長することが現在国会で検討されている。今日の実施計画は、合併特例債の適用期間の延長は考慮していない。今後合併特例債の期間が延長された場合、平成 24 年度はあまり影響がないが、平成 25 年度以降は事業の実施期間の延長、先送りが生じる可能性が高い。その点をご理解いただきながら審議をお願いしたい。

先ほど会長から話があったとおり、向こう 3 年間の指針を表す実施計画の審議会なので、忌憚のないご意見を伺ったうえで答申をいただきたい。

【3】諮 問

市長から小澤会長へ諮問書を渡す

【4】議 事

議題 平成 24～26 年度実施計画について

●第1章 保健・医療・福祉、 第2章 教育・文化、 第3章 環境共生 (説明：企画主幹)

※基幹病院の経過と予定・基幹病院開院後の市立病院整備・医療再編について補足(福祉保健部長)

※特別支援学校について補足(教育部長)

井口委員

六日町病院、ゆきぐに大和病院、城内診療所について、基幹病院開院後も存続していけるのか。基幹病院開院後の基幹病院、市立病院・診療所、自治医科大学、民間の開業医との連携について市がリーダーシップを取っていかないと、財政面、人員面で不安が残るが市長はどうお考えか。

敬老会事業について、東地区では小学校の同窓会が事業を主催しているが、今年から名簿が公表されなくなった。これは同窓会側の配慮なのか、市の指導なのか。今までは欠席者がいても名簿を見てご存命を確認できたが、式次第だけだとわからないと出席者が残念がっている。

市長が米寿の方に授与されている額入りの賞状について、あまり喜ばれていないようでもったいないのではないかという声を聞く。市長の意向が伝わっていない気がするがどうお考えか。

市長

基幹病院開院後の市立病院・診療所について、現在建設事業費や運営費をシミュレーションしているが、赤字を累積せずに3医療体制を維持していけるとの試算が出ている。診療科目などは今後検討して示していく。医師、看護師の確保については、基幹病院から医師を派遣し、地域医療に貢献することが基幹病院建設計画の一つの柱となっている。また、大和病院長にも医師確保に励んでいただいているのであまり不安視はしていない。看護師については今の市立病院の看護師がどれくらい基幹病院への移動を希望するかわからないが、県では職員の身分を残したまま基幹病院へ派遣できるような条例を整備中なので、それに倣って市でも条例を整備したいと考えている。

米寿の方への表彰について、数年前まで米寿の方と百歳の方に記念品を授与していた。現在百歳の方には総理大臣、県知事、市長からそれぞれ賞状や記念品を差し上げているが、米寿の方の記念品は授与していないので、地域貢献への感謝の気持ちとして賞状を授与している。今後米寿や百歳を迎える方も増えていくので、表彰制度の改善を検討していく。

市民生活部長

敬老会の名簿はそれぞれの主催者に渡しているが、個人情報保護の関係もあり、ここ数年は渡す際にそのまま公表しないよう指導している。

森山委員

予防医療について、受診率など市内の具体的な状況を教えてほしい。また、どのような方法で周知しているのか併せて伺いたい。

福祉保健部長

住民健診は主にながね検診で、各世帯に文書で案内をするほか市報等で周知をしている。また、女性特有がんの検診無料クーポンを対象者に送付している。予防対策は主に予防接種だが、子宮頸がんワクチンは中学校で説明会を行い、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種については対象となる児童がいる家庭に通知している。

受診の状況について、女性特有がん検診はクーポンの効果もあり受診率が上がっている。一部受診率が減少しているものもあるが概ね昨年並みであり、県内では高い方だが全体的な受診率はなかなか向上していかないのが現状である。

森山委員

子宮頸がんワクチン接種は市内の全中学1年生に行っているのか。

福祉保健部長

今年の中予1年生女子生徒と昨年事情があつてワクチン接種を受けられなかつた生徒全員が対象である。

関委員

筋力作り教室事業について、市の健康診断は受診後に保健指導を受けられたり筋力作り教室を紹介してもらつたりと系統立てられてきていると感じており、事務局の説明の中でも介護予防を重点化していくとの説明があつた。今後さらに周知が必要と考えるが、実際に参加してみると女性に比べて男性の参加者数が少ないと感じられる。現在の筋力作り教室の男女の参加比率と、現状を踏まえた今後の啓発活動の方針を教えてください。

福祉保健部長

昨年の状況として、筋力作り教室は1,779回開催し、延べ14,291人が参加した。参加者の男女比は「女性：男性」が「8.7：1」である。今後は男性が積極的に参加できるような広報、周知に努めたい。

小野塚委員

生活扶助費について、長引く不況や原発事故の関係で全国的に失業者が増加傾向にある。計画を見ると安定した見込みとなっているが大丈夫なのか。

市長

今年度に入り生活保護世帯は減少傾向にある。リーマン・ショック以降一時期非常に増えたが、それも減ってきており生活が安定してきていると考える。当市は県内でも生活保護世帯の割合が2番目に低く、地域や親戚の絆が強いからだと考えている。

福祉保健部長

生活保護世帯数は平成21年4月が86世帯、平成22年4月が142世帯、平成23年4月が145世帯、平成23年9月が140世帯となっている。生活保護費については今年度の12月補正予算で減額する予定なので、それを勘案すれば来年度若干の増額には対応可能と考える。

阿部康弘委員

小学校のPTA会長を務めたことがあるが、和太鼓やスノーモービルを購入する際に校区内の方から寄付を募つて購入をしてきた。そういった備品を整備する補助金があれば教えていただきたい

し、ないようであれば制度を作してほしい。

教育長

教育改革推進事業で学校を対象とした補助金制度を設けているが、市内のすべての小中学校に配分すると高額な備品の購入は難しい。今までの経過からすると、学校の100周年などの記念事業を行う際に地域の方から寄付をいただいて整備した例が一番多い。実情は把握しているが予算の関係もあり、申し訳ないが対応は難しい。

小野塚委員

教育改革推進事業について、確かな学力の向上ということだが市の教育委員会として教育の内容についてどの程度関与できるのか。地域の特色を活かした教育は大事だと考えるが、計画に記載されているとおりの成果をあげることができるのか。

文化振興補助事業について、具体的にどのような団体にどの程度補助を行っているのか。また、新規団体が補助を受けることは可能なのか。

教育長

学習指導要領に関する部分は授業時数の関係もあり関与が難しいが、スキー授業をはじめとする体育などで、地域の指導者が協力できる場所は多いと考える。また、学校の取り組み方針について、地域や保護者に十分な説明をするよう求めている。現在はその方向で概ね順調に推移していると考える。

教育部長

今年度は6団体に約90万円補助している。事業は今後も継続するが、新規加入については要望があれば積極的に検討する。

小野塚委員

長い間市内で伝統歌舞伎があったが、資金難により祭りでの公演ができなくなった。新たな団体を受け入れる窓口も設けてほしい。

市長

ふるさと基金事業で伝統芸能保存団体の立ち上げ、運営に対する補助を行っている。また地域コミュニティ活性化事業を利用するなど工夫をこらしていただきたい。市でも可能であれば対応したいと考える。

高野委員

小中学校の耐震補強、大規模改修事業について、補修後の耐用年数がどれくらいか見込みを教えてください。

野外・環境教育の推進について、昨年も指摘したがもう少し踏み込んだ内容を実施計画に掲載できないのか。事業内容と政策目標との関連性についてももう少し説明が欲しい。情報提供として、スポーツ等の体験学習に関しては学校の教員だけでは対応が困難になってきており、教育面も指導で

きる外部指導者を活用すべきとの動きも出ている。

教育長

耐用年数については、20年程度は安心できるだろうと考える。大規模改修と耐震補強を併せて事業を行えば経費の面で節約もできたかもしれないが、耐震補強が急務だったため優先して行った。

野外環境教育について、実施計画に記載されている内容は指摘のとおり昨年と同じである。詳しい内容については資料として配布した教育基本計画に掲載させていただいたが、学校、家庭、地域、行政が連携して総合的に野外環境教育を行っていく方針である。具体的な活動としては、緑の少年団や身近な河川の生態観察、キャンプ場での合宿などである。外部指導者については、その道の達人が必ずしも初心者の指導に優れているとは言い切れないので、今後また専門的な視点からご指導いただきたい。

高野委員

野外環境教育は災害教育という点でも大事だと話題になっている。そういった視点からもぜひ進めてほしい。

荒川副会長

特別支援学校について、開校当初の学級数、生徒数などの学校の規模と、今後の見通しについて教えてほしい。また、特別支援学校に適した教員の確保の見通しはどうなっているのか。

教育長

現在小出特別支援学校に通っている市内および湯沢町在住の生徒数は約65名だが、開校に合わせて通い始める生徒は60名弱と想定している。教員については、県の教育長から支援の約束をいただいているので大いに期待している。

教育部長

学級数は小学部で3教室、中学部で3教室、高等部で6教室を想定しているが、予想以上に生徒数が伸びたとしても予備の教室を確保している。今後生徒数がある程度増えても対応できると考えている。教員についても事務レベルでも県と協議し、開校時には必要な教職員を配置して貰えるよう確約をいただいている。

関委員

特別支援学校について、体育館、グラウンド、プールなどはどうする予定なのか。

旧五十沢小学校は今後の利用予定はどうなっているのか。

教育課程特例校事業と国際交流基金事業は内容的に似通っているのも一つにまとめて重点的に取り組んだ方がよいのではないかと。

図書館整備事業について、外部委託とのことだが地域の課題や対応策の方向を教えてください。

心豊かな子育て教室事業とほのぼの広場事業について、内容が似通っているのも一つにまとめて重点的に取り組んだ方がよいのではないかと。

教育長

特別支援学校の設備について、体育館は現在の作業棟を建て替えて新設する予定であるが、グラウンドやプールは敷地の都合上設けることができないため、車いす対応のバスを整備して市内の施設や近隣小中学校を利用させてもらうことを検討している。プールについては水遊び程度のプールを設置できないか今後検討していく。

旧五十沢小学校は、校舎は耐震補強が困難だったため取り壊し、ほぼ完了した。体育館は耐震補強が済んでいるので、災害時の避難場所や近隣住民の屋内ゲートボール場として利用する。

教育課程特例校事業について、当初は教育特区としてはじめた小学校教育内での国際化を目指した事業である。国際交流基金事業は中学生のアメリカへの留学派遣事業であり、毎年約 20 名派遣している。教育課程特例校事業で異文化を学び、国際交流基金事業で希望者に門戸を開くイメージだが、いずれは統合しても問題ないと考える。

教育部長

図書館整備事業について、昨年図書館整備検討委員会で意見を聞きながら基本構想を策定した。検討委員会の中で、市長の考えとして駅前に医院およびショッピングセンターと融合した新たな図書館を作りたい旨を説明している。現在六日町街づくり会社などと協議しながら実施設計を進めている。

図書館については、市長の考えとして指定管理ではなく直営で運営する旨も検討委員会の中で説明してある。学校とも綿密な連携をしたいと考えている。

福祉保健部長

心豊かな子育て支援教室事業は子育て指導を目的とした事業であり、ほのぼの広場事業は親子の遊び場の提供を目的とした事業である。事業は予算に準じて区別してある。

井口委員

魚沼市ごみ処理委託事業について、現在大和地域では魚沼市のエコプラント魚沼にごみを収集しているが、市としてごみに関わる循環型社会の創造を目指すならば市内全域を一つの処理場で対応することを考えなければならないのではないか。

市民生活部長

エコプラント魚沼も当市の環境衛生センターも耐用年数がだいたい同じころに来ると予想されることと、リサイクル活動が活発化しごみの量が減少していることから、次に施設を造るときにはそれぞれ造るという話にはならないと考える。現在事務レベルで魚沼市と情報交換をはじめているので、次の施設の在り方についても協議をしていきたい。

南雲委員

ごみ減量化推進事業について、市内でも大量のレジ袋を使用しているがレジ袋が CO2 発生の元凶となっている。ドイツではレジ袋をサイズによって 5 円～50 円で販売しており、マイバックの推進が進んでいる。業者間の話し合いでは難しいので、市で市内の事業所や団体にそういった方向性を打ち出すことはできないのか。

市民生活部長

市では今年の3月に南魚沼市地球温暖化対策実行計画を策定し、マイバックの推進等を掲げている。また、今年4月より容器包装プラスチックの分別収集を六日町、塩沢地域で開始し、CO2削減に励んでいる。事業所については、ごみ減量化・資源化協力店登録制度を設け、過剰包装の抑止等の連携を図っているが、提案いただいた件についても商工会等と意見交換をしながら協議していきたい。

会長

質疑を終了する。

第1章 保健・医療・福祉、第2章 教育・文化、第3章 環境共生について了解ということによろしいか。

委員 異議なし

会長

異議なしと認める。ここで休憩を取る予定だったが時間の都合上そのまま議事を継続してもよろしいか。

委員 異議なし

会長

異議なしと認める。引き続き事務局から説明を願う。

●第4章 都市基盤、 第5章 産業振興、 第6章 行財政改革・市民参画 (説明：企画主幹)

会長

前半は1章ずつ質疑を行ったが時間の都合上第4章～第6章は一括して質疑を受けたい。

南雲委員

防災対策事業について、日本各地で地震が頻発しているが市の防災訓練ではどのような災害を想定してどのようなことをやっていくのか。また、災害時にプールの水を浄化して使えるのか。

消防団について、定年退職された高齢者を消防団の補助員として活用できないか。

総務部長

総合防災訓練は毎年主会場を大和、六日町、塩沢の輪番で実施している。内容としては情報の伝達、避難、消火、救助などの訓練を行っている。毎年消防本部、消防団と協議しながら訓練を想定していくので、来年度は今年の災害を踏まえて検討をしたい。また、積極的に防災訓練に参加していただくよう地域の方々をお願いしていきたい。

消防長

現在市内で約 2,400 名の消防団員を確保しており、割合としては県内でも恵まれている。団員数は今後緩やかな減少傾向にあり、国でも消防団OBの再任用について制度が立ち上げているものの、当市はまだ危機的な状況ではないと考えている。退職された方には自主防災組織等での活躍を期待している。

総務部長

水については、市で備蓄しているほか、企業と協定を結び災害時には供給を受けることとなっている。プールについては、市では浄水器を持っていないが、自衛隊の活動を見ると浄水して使用することも可能だと思われる。

南雲委員

数値的には団員数は恵まれているが、ほとんどが被雇用者で日中は不在である。過去に火災が起こった際に現役の消防団員より早くOBが集まり消防署から表彰を受けた例もあり、委嘱状を授与するだけでも使命感が湧くものなので検討していただきたい。

消防長

消防団員の約 8 割が被雇用者であるため、現在 7 名以上の消防団員を抱える事業所を消防団協力事業所と認定し、勤務中に消防団の招集がかかった場合は、消防団活動を優先できるようにお願いしている。OBの委嘱については今後検討をしていきたい。

小野塚委員

大原運動公園について、多額の投資をして推進する事業なので、教育的、観光的な指標を明示すべきではないか。賛成、反対の意見のずれがあるので市長の考えを市民の前で明確にする必要があると感じる。

上水道事業について、一般会計からの繰出しを続けるのは当初の設備投資が過剰だったと考えるが、何か改善策を検討しているのか知りたい。

観光交流拠点整備について、管理委託とのことだが、管理運営費を削減していく方向で取り組んでいただきたい。

地域コミュニティ活性化事業について、市長が力を入れている事業であり事業開始当初よりも予算額がかなり増えている。現在年に 1 度 12 地区の交流会を開催しているが、交流を活性化させ、先進事例を普及させるべきではないか。

市長

大原運動公園について、国でもスポーツ基本法が成立したように、スポーツを振興しながら若い方の育成も行っていく考えである。現在、市内出身の競技者が活躍しているが、そのように子どもたちが大きな夢を持って活躍ができる環境を整えていきたい。指標については勉強をして作成を検討したい。市民への説明を尽くしてきたつもりだが、理解されていない部分もあるので、丁寧に説明をしていきたい。

上水道事業について、使用量が増えれば解決に向かうと考えており、基幹病院開院に伴う病院お

よび周辺地域の企業進出に期待をしている。また、実現するかわからないが魚沼市へ送水する話もある。また、一部使用料金の値下げをできないか研究している。

観光交流拠点整備事業について、将来的には市が管理費を払うのではなく市に利益が入ってくるような形にしたいと考えている。指定管理者となるしおざわ農協と協議し、利益をあげながら運営できるように検討していきたい。

地域コミュニティ活性化事業について、当初年間予算は1地区1,000万円を目標としており、予算的にはようやく半分に達したところである。今後も地域の方々の要望を踏まえて徐々に増額していく予定である。交流については地域ごとにそれぞれの特色があるので、ぜひ積極的に行っていただきたい。市としても交流が促進するように努力するが、各協議会の会長からも声を掛け合っていただきたい。

水道事業管理者

上水道事業について、平成22年度決算の収益的収支では約3億円の収益がでており収益的収支は比較的順調であり、約10億円の内部留保資金がある。しかし、今までの施設整備に係る借金の償還が多く残っており、資本的収支では毎年13億から14億の不足額が生じているため、内部留保資金を取り崩している状況である。今のままで行くと4、5年後には内部留保資金がほとんどなくなる予定であるため、一般会計からの繰り入れを受け、借金の繰り上げ償還などを行いながら水道事業を身軽にしていきたいと考えている。

高野委員

農地・水・環境保全向上対策事業について、国と県と市で行う事業であり今年度で終わると聞いていたが来年度以降も継続されるのか。

水害関連、東日本大震災に関する避難者支援の予算は実施計画には掲載されないのか。

清水と栃窪で生き物の調査をしたところ、極めて珍しい植物と生物が見つかった。南魚沼市の一番の先人の財産は自然であり、それが産業振興の基盤だと考える。整備された里山と豊かな生物多様性を維持することで人も集まってきて新たな事業や産業、人の交流が生まれ、教育や市民の誇りに良い影響を与えらると思う。市のまちづくりの方針として自然を大切にすることというのを表すためにも、市として市内全域の生物的な調査をしてはどうか。南魚沼市は人が手を加えることにより生物多様性が高まるという可能性を十分に持っていると思う。また、森林の整備に当たってもそういった視点から整備を進めてはどうか。

市長

農地・水・環境保全向上対策事業について、当初の予定を変更し平成24年度以降も5年間継続して行われる。

災害復旧費や避難者支援の予算は実施計画には掲載されない。災害復旧費用については市内で総額80億円を超える予定であり、3年間でこれを完了するため総合計画とは分けて考えている。一刻も早く復旧が完了できるよう努力する。避難者への支援についてもできる限りの支援を続けていく。

自然環境については先般より話を伺っており、喜ばしいことだと感じている。調査もしたいと考えているので、専門家を紹介していただき具体的な取り組みを進めていきたい。先ほどの質問で野外環境教育について話が出たが、「田んぼの水はどこからくるのツアー」というものをやっている。

今後も子供たちに自然教育や環境保全教育について教育委員会を中心として取り組んでいきたい。

井口委員

国際交流について、国際大学は来年度開学 30 周年を迎えるが入学者が過去最高だった。一時期は非常に経営が厳しかったが、各所との連携や支援があり大勢の入学者を迎えられるようになった。現在約 50 か国の学生が在籍しているが、その人材を大いに地域の国際交流に活かすべきと考える。インターナショナル・ビレッジ構想とは具体的にどのような計画でどの程度の手ごたえを得ているのか。

市長

国際大学は、今まであまり市民との交流の機会がなかったが、市民から寄付を募り開学 30 周年の記念事業を計画している。また、現在学生は大学のバスでイオンに行き買い物をしているが、今後市のバスを出して市内の観光地などを回っていただくことを計画している。経営状況は厳しいが、4 年制の学部の設置を視野に入れながら他大学との連携を模索しており、いい方向で結論が出るのではないかと期待している。また、卒業した生徒がこの地域で活躍できるような環境整備についても検討をしていく。

教育長

インターナショナル・ビレッジ構想とは、外国の文化に触れることで、地域の文化や日本の文化について考える機会を持たせるという構想である。また、少子化が進行することで、今の子供たちは社会が狭くなっており、多人数社会による思いやりの醸成の機会が不足していると考え。異なる人種の方々と小さな頃から触れ合うことで、言葉や文化は元より、人間としての在り方や心の持ち方を考える機会を持たせたい。

現在の具体的な活動は、国際大学の学生から学業、研究の時間の合間を使って市内の小中学校を訪問してもらっている。

会長

質疑を終結する。(4)都市基盤、(5)産業振興、(6)行財政改革・市民参画について、了解ということよろしいか。

委員 異議なし

会長

委員の皆さんにお諮りする。原案のとおり承認するという答申をしてよろしいか。

委員 異議なし

【5】答申

会長が答申書を読み上げ市長に渡す。

市長

本日は大変ありがとうございました。皆様から出された疑問、問題点についても計画の中に活かしていきたい。

事務局 企画政策課長

今ほどの市長の話のとおり、答申いただいた内容に基づき最終的に市長が決定する。なお、本日の議事録については作成後市の公式ウェブサイトに掲載させていただく予定なのでよろしくお願いしたい。

会長

長時間にわたり慎重に審議していただきありがとうございました。本日はこれで閉会とします。

閉会 午後4時40分